

2027 年度 募集要項

海外帰国生選抜入試・短大海外帰国生選抜入試 社会人入試・短大社会人入試



愛知大学
AICHI UNIVERSITY

【目次】

I. 海外帰国生選抜入試・短大海外帰国生選抜入試	P.3
II. 社会人入試・短大社会人入試	P.8

共通事項

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	P.1
入学検定料	P.13
出願受付	P.13
注意事項	P.14
合格発表	P.15
入学手続	P.15
単位認定【3年次入学(編入学)】	P.15
合格発表に関するご案内	P.16
奨学金制度	P.17
学納金等【1年次入学】	P.18
学納金等【3年次入学(編入学)】	P.19

出願書類

- 入学志願票(別紙①)
(海外帰国生選抜入試／短大海外帰国生選抜入試)
- 入学志願票(別紙②)
(社会人入試／短大社会人入試)
- 入学検定料振込依頼書(別紙③)
(海外帰国生選抜入試／短大海外帰国生選抜入試)
- 入学検定料振込依頼書(別紙④)
(社会人入試／短大社会人入試)
- 写真票／入学検定料振込確認書貼付用紙(別紙⑤)
- 志望理由書(別紙⑥-1、別紙⑥-2)
- 身上書(別紙⑦)
- 就業状況等に関する調書(別紙⑧)
- 専修学校専門課程修了(見込)証明書(別紙⑨)
- 資格検定試験証明書等貼付用紙(別紙⑩)
- 出願書類送付用宛名ラベル
(海外帰国生選抜入試／短大海外帰国生選抜入試)
- 出願書類送付用宛名ラベル
(社会人入試／短大社会人入試)

※本募集要項は冊子での配付をしておりませんので、各自で出願書類を印刷してください。

入学者受入方針(アドミSSION・ポリシー)

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神とし、「高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材」の育成を全学の教育目標として掲げ、各学部・学科ごとに教育目標(教育研究上の目的)及び学位授与方針を定めています。本学では、これを達成するために、定められた教育課程に従い学修する資質、能力及び知識を備えた以下のような学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生。
- (2) 優れた能力や豊かな経験に基づく各学部専門教育への強い興味や関心、勉学意欲を持つ学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校において学ぶ各教科の基本的な内容について、幅広く理解していること。 (2) 自身が入学する学部・学科で学ぶ学問に関する書籍等に触れ、基礎的な知識を得ておくこと。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 地域や社会で起こっている事柄に幅広く関心を持ち、その原因や解決方法などを自分なりに考える習慣を持つこと。 (2) 自身の考えや意見を他者に分かりやすく伝えることができるような、表現力を養うこと。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 取り組むべき課題や解決が必要な諸問題に対して、他者とも協働し、主体的に取り組むことができること。 (2) 自分と異なる意見や考え方について肯定的に捉え、多様な人々と積極的にコミュニケーションが取れること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

法学部 法学科

法学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 法や政治、さらに経済など、社会科学の扱うさまざまな事象への関心を持ち、社会正義や人権についての感覚を大切にしている人。
- (2) 法や政治、社会的な諸問題を構造的に理解した上で、その考えを応用してさまざまな問題に対処し、社会に貢献したいという強い意欲を有する人。
- (3) 国際的な観点からわが国の法及び政治の特徴や問題を分析したいという強い意欲を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校の各教科、とりわけ国語、地理歴史・公民、数学についての基本的学力。 (2) 外国語の基礎的な能力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 論理的思考力。 (2) 自分の考えを相手に的確に伝えることができる能力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 社会の動きや状況について関心を持ち続けることができること。 (2) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有していること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数の教科を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部 経営学科

経営学部経営学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 企業、商品、市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
- (2) ビジネスや行政などの様々な領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
- (3) 国家資格等を取得して、特定の専門職のプロフェッショナルを目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 様々な課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

現代中国学部 現代中国学科

現代中国学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 中国に対して強い関心を持っている人。
- (2) 現地主義教育を通じて自ら成長したい人。
- (3) アジアを中心とした国際社会で活躍したい人。
- (4) グローバルな視野で社会貢献したい人。
- (5) 異文化体験を通して、自らが所属する文化・社会を理解したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) バランスの良い基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 物事を論理的に考え自分の考えを相手に説明できる能力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 年齢、性別、国籍などの違いを越えて一緒に活動したり、話し合ったりできる力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/現代中国学部グローバル人材特別入試を実施し、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経済学部 経済学科

経済学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 主体的に学習する意欲を持っている人。
- (2) 経済・社会に関心を持っている人。解決を必要とする問題を発見し自ら解決できる経済学の専門知識と教養を修得する意欲と実行力を持っている人。
- (3) 地域社会、国内外の社会で活躍、貢献したいと思っている人。
- (4) 他者への思いやりや公正さを重んじ、異なる考え方を尊重する、自立した社会人になりたいと思っている人。
- (5) 柔軟な思考力、創造力を備えるとともに、コミュニケーション能力や表現能力を高めたいと思っている人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 基礎学力(高等学校の各教科、とりわけ、国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科の基礎学力)を有すること。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 基礎的な論理的思考力、的確な主張、文章の表現力を有すること。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 基礎的な会話・コミュニケーション能力を有すること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部 会計ファイナンス学科

経営学部会計ファイナンス学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 企業活動、金融市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
- (2) 一般企業、行政及び教育などの様々な領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
- (3) 公認会計士、税理士及び国税専門官などの会計専門職を目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 様々な課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部 英語学科

国際コミュニケーション学部英語学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 英語をはじめとする外国語を習得したい人。
- (2) 異文化理解に関心を持ち、異文化体験を通して視野を広げたい人。
- (3) 国際的な場での社会貢献をしたい人。
- (4) 企業の海外事業や国際流通部門、航空・旅行会社など、海外の人と関わる職業で活躍したい人。
- (5) 英語教師となり地域社会や教育の分野で自らの学びを還元したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 英語学科での教育を受けるのに必要とされる高校卒業程度の教育課程を修得している。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 物事を論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようと努力できる。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲がある。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接、学科試験等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部 国際教養学科

国際コミュニケーション学部国際教養学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 国際交流に意欲を持っている人。
 - (2) 異文化理解に必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。
 - (3) 異なる社会・文化背景をもつ人々と積極的にコミュニケーションを取ろうとする人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 国際教養学科での教育を受けるのに必要とされる高等学校の教育課程を修得している人。
 - (2) アメリカ・アジア（日本を含む）・ヨーロッパをめぐる歴史、政治、経済、社会、文化、国際関係への関心をもち、必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。

- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 現在の国際社会の様々な問題を多面的かつ論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようとする人。
 - (2) 異文化理解を深めた上で、日本語・日本文化を海外に積極的に紹介したいと考えている人。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 多様な文化背景をもつ人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲をもった人。
 - (2) 異文化を理解して国際社会や世界の中の地域社会において積極的に貢献したいと考えている人。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 人文社会学科

文学部人文社会学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、過去あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人、また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した人文学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 人文・社会系の学問に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 日本語日本文学科

文学部日本語日本文学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 「日本語」「日本文学」「日本語表現」について興味や関心を抱いており、過去から現在、未来へと至る日本文化について思考・構想することに魅力を感じている人。また、それを思考・構想するための高度な知識や分析方法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した日本語・日本文学・日本語表現学に関する専門的知識や研究方法、広義のリテラシー能力を、将来的な自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいとする意志を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 日本語学や日本文学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

地域政策学部 地域政策学科

地域政策学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 故郷や住んでいる地域、自然環境を愛し、その変化に関心を持っている人。
 - (2) 地域の問題や地方の課題を解決したいと思っている人。
 - (3) 新しい政治や経済、行政のあり方を追求したい人。
 - (4) 安全・安心で個性的なまちづくり・社会づくりに情熱を持っている人。
 - (5) 知識の習得にとどまらず、豊かな人間性を育みたいと思っている人。
 - (6) 世界の人々と交流し異文化体験を糧として成長したいと願っている人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 地域政策学を学習するために必要な基本的な知識、読解力。
 - (2) ワードプロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの基本ソフトを操作する能力。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 基本的な知識・技能を踏まえた論理的思考力・判断力。
 - (2) 地域の問題や政策課題について情報を収集し、分析し、表現する能力。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 目的意識・意欲をもち、継続的にものごとに取り組む能力。
 - (2) 多様な考えを理解し、グループとしての意見を形成する能力。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、所定の教科・科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接、プレゼンテーション等の組み合わせにより総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

社会情報学部 社会情報学科

社会情報学部社会情報学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 知識を獲得することに喜びを感じるのできる学生。
 - (2) 獲得した知識を基に物事を論理的に考えるのできる学生。
 - (3) 客観的なデータ・論拠を基に的確な判断を下せる学生。
 - (4) 現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に向けて主体的に取り組む意欲のある学生。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報等についての十分な、あるいは本学部での学習を円滑に進めることのできる程度の基礎学力。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 物事を論理的に考える姿勢。
 - (2) 客観的な論拠に基づいて判断する姿勢。
 - (3) 説得力のある表現を試みようとする姿勢。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 興味・関心のあることに主体的・積極的に取り組む力。
 - (2) 他者との間で円滑にコミュニケーションがとれる力。

3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 歴史地理学科

文学部歴史地理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間や社会の歴史的展開や、人々が生活する地理的環境などについて興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した歴史学・地理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいとする意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 歴史学や地理学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 心理学科

文学部心理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、生物、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した心理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 心理学を学ぶために必要な基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

短期大学部 ライフデザイン総合学科

短期大学部ライフデザイン総合学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 豊かな教養を求め、自国のことばや文化に関心の高い人。
 - (2) 英語をはじめとする外国語の習得に強い意欲をもち、異文化理解に興味のある人。
 - (3) 社会人・職業人になることを意識的に考え、それに向かって努力できる人。
 - (4) 人と人、人と社会の関係などに問題意識をもち、自ら成長したいと思っている人。
 - (5) 高校時代までにサークル活動、ボランティア活動等に熱中したことがあり、その経験を語る人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) さまざまな科目を広く学んだ基礎学力。
 - (2) 日本語による会話・コミュニケーション能力。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 論理的思考力、的確な主張、文章の表現力。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 豊かな経験に基づく学習意欲。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、国語・英語を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

I. 海外帰国生選抜入試・短大海外帰国生選抜入試

1. 趣 旨

保護者の海外勤務等により、生徒は、貴重な海外経験を通じて、語学能力を高め、教養や異文化理解を深めることができる。反面、一方では就学面等で支障をきたすことがある。

本学では、このような生徒に配慮し、海外での経験を活かしながら、本学でさらに深い教養と専門知識を身につけることを希望する生徒を受け入れ、広く国際的視野をもって社会の発展に貢献しうる人材の育成をめざす。

2. 募集定員

学部・学科・コース		募集定員
法学部	法学科	若干名
経済学部	経済学科	若干名
経営学部	経営学科	若干名
	会計ファイナンス学科	若干名
現代中国学部	現代中国学科	若干名
国際コミュニケーション学部	英語学科	若干名
	国際教養学科	若干名
社会情報学部*	社会情報学科*	若干名
文学部 ^(※) 学部全体入試		若干名
地域政策学部	地域政策学科	公共政策コース
		経済産業コース
		まちづくり・文化コース
		健康・スポーツコース
		食農環境コース
短期大学部(女子のみ出願可能)	ライフデザイン総合学科	若干名

* 2027年4月開設予定

社会情報学部では、「教育のICT化」を推進しており、講義・演習・ゼミなどでパソコンを利用するため、学生個人所有の「ノートパソコンの必携化（BYOD：Bring Your Own Device）」を実施します。入学時には、入学関係書類を通じてご案内を確認の上、ノートパソコンをご準備ください。詳細については、愛知大学 入学手続ページに記載いたします。また、自宅等でインターネットを利用できる環境もご準備ください。

(※) 文学部は学部全体入試を実施します。学部全体入試による入学者は、本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。1年次の所属は人文社会学科となります。

人文社会学科、歴史地理学科、日本語日本文学科、心理学科を合算した募集定員となります。

※学部・学科等の詳細は、「大学案内2027」等をご確認ください。

3. 出 願 資 格

【法学部・経済学部・経営学部・国際コミュニケーション学部・社会情報学部*・文学部・地域政策学部】

出願時において日本国籍を有する者または日本での永住者資格をもつ外国人およびそれに準ずる者（出入国管理および難民認定法に定める）で、国内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（見込みを含む）、および次の(1)～(3)いずれかの項目に該当する者。

(1)	【現在、外国の高等学校に在学しているか、すでに卒業した者】 次の①②を満たすこと。 ①外国の学校で教育(当該国の教育課程に基づく学校において)を受け、その学校に2年以上(見込みを含む)継続して在学した者。 ②外国の高等学校を2025年4月1日から2027年3月31日までに卒業(修了)した者または卒業(修了)見込みの者。
(2)	【現在は日本に帰国し、日本の高等学校(特別支援学校の高等部も含む)または中等教育学校に在学している者】 次の①～③を満たすこと。 ①過去に外国の学校で教育(当該国の教育課程に基づく学校において)を受け、その学校に2年以上継続して在学した者。 ②出願時において帰国後6年以内の者。 ③現在、日本国内の高等学校(特別支援学校の高等部も含む)または中等教育学校に在学し、2027年3月に卒業見込みの者。
(3)	上記(1)～(2)と同等以上の資格があると本学が認めた者。

*2027年4月開設予定

【現代中国学部】

出願時において日本国籍を有する者または日本での永住者資格をもつ外国人およびそれに準ずる者（出入国管理および難民認定法に定める）で、国内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（見込みを含む）、および次の(1)～(5)いずれかの項目に該当する者。

(1)	次の①②を満たすこと。 ①外国の高等学校に最終学年を含み2年以上継続して在学した者。 ②外国の高等学校を2025年4月1日から2027年3月31日までに卒業(修了)した者または卒業(修了)見込みの者。
(2)	次の①②を満たすこと。 ①外国の高等学校に2年以上継続して在学した者。 ②日本の高等学校(特別支援学校の高等部も含む)または中等教育学校を2025年4月1日から2027年3月31日までに卒業した者または卒業見込みの者。
(3)	次の①②を満たすこと。 ①通算3年以上または2年以上継続して外国で教育(当該国の教育課程に基づく学校において)を受けた者。 ②帰国後の日本の高等学校(特別支援学校の高等部も含む)または中等教育学校での在籍期間が3年以内の者で、2025年4月1日から2027年3月31日までに卒業した者または卒業見込みの者(留学のための休学あるいは留年は在籍期間から除く)。
(4)	外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書を2025年4月1日から2027年3月31日までに取得した者または取得見込みの者。
(5)	上記(1)～(4)と同等以上の資格があると本学が認めた者。

※外国の高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして、認定または指定した在外教育施設を含む。

【短期大学部】

出願時において日本国籍を有する者または日本での永住者資格をもつ外国人およびそれに準ずる者（出入国管理および難民認定法に定める）（女子）で、国内外を問わず、学校教育における１２年以上の課程を修了した者（見込みを含む）、および次の（１）～（３）いずれかの項目に該当する者。

(1)	【現在、外国の高等学校に在学しているか、すでに卒業した者】 次の①②を満たすこと。 ①外国の学校で教育（当該国の教育課程に基づく学校において）を受け、その学校に２年以上（見込みを含む）継続して在学した者。 ②外国の高等学校を２０２５年４月１日から２０２７年３月３１日までに卒業（修了）した者または卒業（修了）見込みの者。
(2)	【現在は日本に帰国し、日本の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校に在学している者】 次の①～③を満たすこと。 ①過去に外国の学校で教育（当該国の教育課程に基づく学校において）を受け、その学校に２年以上継続して在学した者。 ②出願時において帰国後６年以内の者。 ③現在、日本国内の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校に在学し、２０２７年３月に卒業見込みの者。
(3)	上記（１）～（２）と同等以上の資格があると本学が認めた者。

4. 出 願 書 類

出願書類のうち外国語で記載された証明書・文書等については、必ず日本語訳を添付してください。
日本語訳は自身で訳したものでも構いません。

書類		内容	別紙
1	入学志願票(海外帰国生選抜入試)	本学所定用紙・自筆・写真貼付	①
2	写真票/入学検定料振込確認書貼付用紙	写真票は、本学所定用紙・自筆・写真貼付。 別紙③C票(入学検定料振込確認書)を所定欄へ貼付。	⑤
3	志望理由書	本学所定用紙・自筆・1,000字以内	⑥
4	身上書	本学所定用紙・自筆	⑦
5	高等学校等全期間の成績証明書(次のa～dいずれかを提出)※ a. 外国の高等学校出身者は出身学校長が作成した成績証明書 b. 日本の高等学校(特別支援学校の高等部も含む)または中等教育学校出身者は出身学校長作成の調査書(厳封) c. 国際バカロレア有資格者は国際バカロレア成績評価証明書 d. 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格した者は、合格成績証明書		
6	在籍証明書	在籍した外国の学校の在籍期間を証明するもの	
7	卒業証明書(次のa・bいずれかを提出) a. 出身学校の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書 b. 国際バカロレア有資格者はディプロマの写し		

(※)成績証明書として提出する書類の一例としては次のようなものがあります。

(1) アメリカ合衆国の教育制度によるもの

- ・ College Board(CB)の実施するSAT Reasoning Testの成績評価証明書
- ・ Educational Testing Service(ETS)の実施するTOEFLのTest Taker Score Report
- ・ American College Testing Program(ACT)が行うACTのスコアレポート

(2) イギリスの教育制度によるもの…General Certificate of Education(GCE)の成績評価証明書

(3) フランスの教育制度によるもの…Baccalaureate(バカロレア)の成績評価証明書

(4) その他の国の教育制度によるもの…統一試験のある国については、その規則に従って受験した成績評価証明書
(統一試験制度についての公式資料等を添付してください)

該当者はこれらに加え、以下の書類も提出

8	引揚証明書	中国引揚者等子女であることを証明できる書類 (引揚証明書写し等、様式は特に定めていません)	
9	永住者資格を証明する書類	日本での永住者資格を証明できる書類 (様式等は特に定めていません)	
10	その他本学が必要と認めた書類	—	

※提出書類を番号順に揃え、クリップでとめてください(ホチキス等使用不可)。

※提出された出願書類に不備があった場合、本学から連絡します。

5. 試験日・試験場

試験日	2026年10月18日(日)	
試験場	法学部、経済学部、経営学部 現代中国学部、国際コミュニケーション学部 社会情報学部*	名古屋校舎
	文学部、地域政策学部、短期大学部	豊橋校舎

*2027年4月開設予定

6. 選考方法

出願書類、小論文（短期大学部を除く）、個人面接により、総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分
------	-------

学部 \ 試験時間	10時00分～	12時00分～ (1人10分程度)
法学部	小論文(60分) ※学部別に課題を課す	個人面接(日本語)
経済学部		個人面接(日本語)
経営学部		個人面接(日本語)
現代中国学部		個人面接(日本語と外国語) ※外国語は英語または中国語
国際コミュニケーション学部		個人面接(日本語と外国語) ※外国語は英語
社会情報学部*		個人面接(日本語)
文学部		個人面接(日本語)
地域政策学部		個人面接(日本語)
短期大学部	個人面接(日本語) (1人10分程度)	

*2027年4月開設予定

Ⅱ. 社会人入試・短大社会人入試

1. 趣 旨

【学部】

本制度は、生涯教育の観点などから、勉学意欲が旺盛で社会的経験の豊富な社会人に対し、大学で学ぶ機会を提供しようとするものである。そのため、入学選抜方法につき、社会人であることを配慮し、この社会人入学試験を実施する。さまざまな職種から、これまでの社会で培った経験を活かし、勉学意欲の旺盛な社会人が入学され、真剣に学問に取り組んでいる。

この社会人入学試験の趣旨をよく理解する社会人が、多数入学することを期待してやまない。

【短期大学部】

本制度は、勉学意欲が旺盛で社会的経験が豊富な社会人と若い学生がともに学ぶ機会を提供しようとするものである。そのために、入学選抜方法について社会人であることを配慮したのが、この社会人入学試験である。

2. 募 集 定 員

【1年次入学】

学部・学科・コース			募集定員
法学部	法学科		若干名
経済学部	経済学科		若干名
経営学部	経営学科		若干名
	会計ファイナンス学科		若干名
現代中国学部	現代中国学科		若干名
国際コミュニケーション学部	英語学科		若干名
	国際教養学科		若干名
社会情報学部*	社会情報学科*		若干名
文学部 ^(※) 学部全体入試			若干名
地域政策学部	地域政策学科	公共政策コース	若干名
		経済産業コース	
		まちづくり・文化コース	
		健康・スポーツコース	
		食農環境コース	
短期大学部(女子のみ出願可能)	ライフデザイン総合学科		若干名

* 2027年4月開設予定

(※) 文学部は学部全体入試を実施します。学部全体入試による入学者は、本人の希望と1年次の成績により、2年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。1年次の所属は人文社会学科となります。

人文社会学科、歴史地理学科、日本語日本文学科、心理学科を合算した募集定員となります。

※学部・学科等の詳細は、「大学案内2027」等をご確認ください。

【3年次入学(編入学)】

学部・学科		募集定員
現代中国学部	現代中国学科	若干名
国際コミュニケーション学部	英語学科	若干名
	国際教養学科	若干名

3. 出願資格

【1年次入学】 次の(1)～(3)〔国際コミュニケーション学部は(1)～(4)〕全項目に該当する者。

(1)	(学部) 2027年4月1日現在で満22才以上の者。
	(短期大学部) 2027年4月1日現在で満20才以上の女性。
(2)	(学部) 就業等の社会経験を有する者。
	(短期大学部) 2年以上の就業経験(見込みを含む)がある者、または家事従事者。
(3) 次のa～cいずれかに該当する者。	
a. 高等学校(特別支援学校の高等部も含む)または中等教育学校を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者。ただし、本学で取得できる学位と既に修得している(見込みを含む)学位が同一の場合は出願不可。	
b. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2027年3月修了見込みの者。	
c. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の①～⑥いずれかに該当する者。	
① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。	
② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者。	
③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。	
④ 文部科学大臣の指定した者。	
⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2027年3月31日までに合格見込みの者。	
⑥ 本学において個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。 ※個別の入学資格審査希望者は出願開始日の30日前まで(必着)に企画部入試課に申請する必要があります。詳細はお問い合わせください。	
(4) 国際コミュニケーション学部は、次のいずれかの資格取得者または相当する資格取得者。	
【英語学科】	①実用英語技能検定 2級以上合格者
	②国際連合公用語英語検定試験 B級以上合格者
	③TOEFL-iBT® 48以上取得者
	④TOEIC® L&R 520以上取得者
【国際教養学科】	実用英語技能検定 準2級以上合格者

※英検S-CBT(英検CBT含)も可

※2026年1月21日以降のTOEFL-iBT®の受験者は、参考値として記載されているスコアにて評価。

※TOEFL-iBT® Home Edition、TOEIC®-IPは対象外。

【3年次入学(編入学)】次の(1)～(3)〔国際コミュニケーション学部は(1)～(4)〕全項目に該当する者。

(1) 2027年4月1日現在で満24才以上の者。	
(2) 就業等の社会経験を有する者。	
(3) 次のa～cいずれかに該当する者。	
【英語学科】 【国際教養学科】	a. 2027年3月までに大学学部・短期大学・高等専門学校を卒業(見込みを含む)した者。 ただし、本学で取得できる学位と既に修得している(見込みを含む)学位が同一の場合は出願不可。
	b. 2027年3月までに大学学部で2年以上在学(休・停学期間は含まない)し、62単位(卒業要件単位)以上修得した者または修得見込みの者。
	c. 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準(専門課程の修業年限が2年以上でかつ課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること)を満たす課程を2027年3月までに修了した者および修了見込みの者。 ただし、学校教育法第90条の規定する大学入学資格を有する者に限る。
(4) 国際コミュニケーション学部は、次のいずれかの資格取得者または相当する資格取得者。	
【英語学科】 【国際教養学科】	①実用英語技能検定 2級以上合格者
	②国際連合公用語英語検定試験 B級以上合格者
	③TOEFL-iBT® 48以上取得者
	④TOEIC® L&R 520以上取得者

※英検S-CBT(英検CBT含)も可

※2026年1月21日以降のTOEFL-iBT®の受験者は、参考値として記載されているスコアにて評価。

※TOEFL-iBT® Home Edition、TOEIC®-IPは対象外。

以下①②に該当する者は、出願に先立ち必ず企画部入試課(052-937-8113)へ受験資格の有無を確認してください。

①日本人で外国の大学等を卒業(見込みを含む)した者。

②外国人留学生(ただし日本の大学等に在籍したことがない者は出願することができません)。

※本学学部在学学生は出願することができません。

※入学手続完了者でも卒業(修了)要件単位数等を満たさない場合には編入資格を失います。

4. 出 願 書 類

【1 年次入学】

書類		内容	別紙
1	入学志願票(社会人入試)	本学所定用紙・自筆・写真貼付	②
2	写真票/入学検定料振込確認書貼付用紙	写真票は、本学所定用紙・自筆・写真貼付。 別紙④C票(入学検定料振込確認書)を所定欄へ貼付。	⑤
3	志望理由書	本学所定用紙・自筆・1,000字以内	⑥
4	調査書 (次の a・b いずれかを提出)		
	a. 高等学校(特別支援学校の高等部も含む)または中等教育学校卒業者または卒業見込者は出身学校の調査書(厳封)。 ※出身学校で調査書の保存年限を過ぎていて発行されない場合は、「成績証明書」を提出してください。調査書と成績証明書がともに発行されない場合は、その旨を文書にて明記し提出してください。		
	b. 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定) 合格(見込みを含む)による出願の場合は、以下の書類を提出。		
	高等学校卒業程度認定試験 (旧大学入学資格検定) 合格者	合格証書のコピーまたは合格証明書(原本)を提出 (※発行年月日は不問)	
	高等学校卒業程度認定試験 合格見込み者	合格見込成績証明書(原本)のみ提出	
	※高等学校卒業程度認定試験合格者で、免除科目がある場合、その科目の単位修得証明書は必要ありません。		
5	卒業証明書	最終学歴の出身学校長が交付したもの(卒業見込者は不要)	
6	就業状況等に関する調書	本学所定用紙・自筆	⑧

国際コミュニケーション学部は1～6に加え、以下の書類も提出

7	資格検定試験証明書等貼付用紙	合格証書等の写し	⑩
---	----------------	----------	---

※提出書類を番号順に揃え、クリップでとめてください(ホチキス等使用不可)。

※提出された出願書類に不備があった場合、本学から連絡します。

【3 年次入学(編入学)】

書類		内容	別紙
1	入学志願票(社会人入試)	本学所定用紙・自筆・写真貼付	②
2	写真票/入学検定料振込確認書貼付用紙	写真票は、本学所定用紙・自筆・写真貼付。 別紙④C票(入学検定料振込確認書)を所定欄へ貼付。	⑤
3	志望理由書	本学所定用紙・自筆・1,000字以内	⑥
4	成績証明書	出身大学(または短期大学・高等専門学校・専修学校)長が交付したもの(厳封)。	
5	履修登録書	出願時に履修中の科目がある者のみ提出。 出願時に履修中のため、成績や単位数が成績証明書に記載されない科目がある場合は、履修登録書など、履修中の科目と単位数が確認できる書類を提出(コピー、自己で作成したものも可)。	
6	卒業(修了)証明書 または 卒業(修了)見込証明書 または 在学期間証明書	出身大学(または短期大学・高等専門学校・専修学校)長が交付したもの。 大学中途退学者または現在四年制大学に在籍し、2年次までの課程を修了(見込みを含む)した者は <u>在学期間証明書</u> (注:在籍証明書ではありません)を提出。	
7	就業状況等に関する調書	本学所定用紙・自筆	⑧

出願資格(3) c 該当者は1～7に加え、以下の書類も提出

8	専修学校専門課程修了(見込)証明書	本学所定用紙を使用し、専修学校長より交付を受けたもの(厳封)。	⑨
---	-------------------	---------------------------------	---

国際コミュニケーション学部は1～7に加え、以下の書類も提出

9	資格検定試験証明書等貼付用紙	合格証書等の写し	⑩
---	----------------	----------	---

※提出書類を番号順に揃え、クリップでとめてください(ホチキス等使用不可)。

※提出された出願書類に不備があった場合、本学から連絡します。

5. 試験日・試験場

試験日	2026年10月18日(日)	
試験場	法学部、経済学部、経営学部 現代中国学部、国際コミュニケーション学部 社会情報学部*	名古屋校舎
	文学部、地域政策学部、短期大学部	豊橋校舎

*2027年4月開設予定

6. 選考方法・試験時間

出願書類、小論文、個人面接により、総合判定して合格者を決定します。

【1年次入学(法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、国際コミュニケーション学部、社会情報学部*、文学部、地域政策学部)】 *2027年4月開設予定

集合時間	9時40分
選考方法	試験時間
小論文 (800字以内)	10時00分～11時00分(60分)
個人面接(日本語) ※国際コミュニケーション学部英語学科は、 英語と日本語で行います。	12時00分～(1人10分程度)

【1年次入学(短期大学部)】

集合時間	9時40分
選考方法	試験時間
個人面接(日本語)	10時00分～(1人10分程度)

【3年次入学(編入学：現代中国学部、国際コミュニケーション学部)】

集合時間	9時40分
選考方法	試験時間
小論文 (1,200字以内)	10時00分～11時20分(80分)
個人面接(日本語) ※国際コミュニケーション学部英語学科は、 英語と日本語で行います。	12時30分～(1人10分程度)

共通事項

入学検定料

金融機関窓口で納入してください。

入学検定料	35,000円
納入期間	2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月)《最終日収納印有効》 ※出願書類提出期限と異なるため、ご注意ください。
納入方法	金融機関窓口のみ ・出願をする入試種別(別紙③もしくは別紙④)のA票(入学検定料振込依頼書)・B票(入学検定料領収書)・C票(入学検定料振込確認書)を切り離さずに金融機関窓口にて「電信扱」で納入してください(A T Mからは振り込まないでください)。 ・振込手数料は個人負担となります。 ・納入後、B票・C票に取扱金融機関収納印が押されていることを確認してください。 ・B票は領収書になりますので大切に保管してください。 ・入学検定料納入後、C票は別紙⑤入学検定料振込確認書貼付用紙に貼付し、他の出願書類と併せて大学へ送付してください。

出願受付

出願期間 (郵送のみ)	2026年9月18日(金) ～ 9月29日(火)《必着》
----------------	------------------------------

出願は郵送に限ります。市販の角形2号封筒(A4サイズ of 書類が入るもの)を用意し、封筒に出願書類送付用宛名ラベルを貼り付けてください。出願書類一式を封入し出願期間中に郵便局窓口にて「簡易書留速達」で郵送してください(ポストへの投函不可)。入学検定料の支払いが済んでいないもの、出願期間を過ぎたものは受理できません。出願書類は最終日必着です。消印有効ではありませんのでご注意ください。

送付先：〒461-8641 名古屋市東区筒井二丁目10-31 愛知大学企画部入試課

受験票 発送予定日	2026年10月8日(木) 一括発送 ※普通郵便で発送しますので、お手元に届くまで数日かかる場合があります。 ※受験票が届かない場合は、試験2日前までに企画部入試課へお問い合わせください。 TEL: 052-937-8112・8113
--------------	--

注 意 事 項

(1) 試験当日の持ちもの

受験票	・受験票は試験時間中、座席カード(受験番号表示)の下に置いてください。 ・受験票を忘れた場合は、試験開始前に試験場本部まで申し出てください。 ・受験票の住所、氏名等に間違いがある場合は、試験2日前までに企画部入試課に連絡するか試験当日に試験場本部に申し出てください。
筆記用具	・HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴムを持参してください。 ・下敷き、定規、コンパスの使用は認めません。
時計	・試験室には時計がありませんので各自で持参してください。 ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の通信機能や辞書機能を持つもの、またそれらの機能の有無が判別しづらいものを時計として使用することはできません。
昼食	・必要に応じて昼食を持参してください。

(2) 試験当日の注意

- ・試験場を間違えると受験できなくなりますので、充分注意してください。
- ・試験開始20分前までに入室し、着席してください。
- ・試験開始後20分を超えて遅刻した場合は受験できません。万一、やむを得ず遅刻する場合は、試験開始前までに受験票記載の連絡先に連絡してください。なお、交通トラブル等により遅刻する場合は各公共交通機関が発行する遅延証明書を必ず取得してください。
- ・試験中の途中退室は認めません。試験中気分が悪くなった場合は監督者に申し出てください。
- ・休憩時間等、試験室の外に出る際には、必ず受験票を携帯してください。
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんにしまってください。試験開始後に操作した場合は不正行為とみなします。
- ・他の受験者の迷惑となる行為や監督者等の指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。
- ・机の上に置けるものは、受験票の他に黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ハンカチ、袋から出したティッシュペーパー、目薬です。また、ひざ掛けや上着等は、試験実施に影響の無いもの(過度な英文字や地図等のプリントが無いもの)であれば使用できます。
- ・各試験場とも前日の問い合わせ等の受付窓口は開設しません。また、試験場建物内の下見はできません。
- ・大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ(試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります)、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験者負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
- ・試験時間中に日常的な生活騒音等(監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・鉄道・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置はありません。
- ・「学校保健安全法」で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等)に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者は受験できません。該当する場合は、試験当日の午前10時までに受験票記載の連絡先へお申し出ください(罹患の場合、後日、感染を証明する診断書等の提出が必要となります)。なお、追試験は実施しません。
- ・発熱や咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。また、試験場で発熱や咳等の症状がある受験者には、試験監督等から座席の移動や試験室の変更をお願いする場合があります。

(3) その他の注意

- ・いったん受理された書類および納入された入学検定料は、原則返還しません。
- ・出願後の志願学部・学科・コース等の変更は一切認めません。
- ・障がい等により、受験・修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、8月31日(月)までに必ず企画部入試課へお問い合わせください。申請手続を説明し、必要書類をお送りします。本学の入学試験における特別措置は、原則として大学入学共通テストでの措置内容に準じ、可能な限り対応します。また、出願後の不慮の事故等により、受験時に特別な配慮を必要とする場合も速やかにお問い合わせください。

【社会人入試 3年次入学(編入学)】

※入学手続完了者でも卒業(修了)要件単位数等を満たさない場合には編入資格を失います。

合格発表

発表日	2026年11月2日(月) 10時00分～
-----	-----------------------

- ・本学では合格発表に「オンライン合否照会」ページを使用します。P. 16の案内に従って合否照会を行ってください。
- ・別途合格通知書および入学手続き書類の郵送はありませんので、ご注意ください。
- ・合否に関する本学へのお問い合わせには一切応じません。

利用上の注意

- ・本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認められません。
- ・合否照会は利用期間外は利用できません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くなりがちで状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・合否の結果に関し、電話等でのお問い合わせは受け付けません。
- ・パソコン等のブラウザ設定によっては、画像のずれ、文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。

入学手続

合格者の入学手続は、第一次入学手続と第二次入学手続に分かれています。それぞれの期限内に所定の手続きをしてください。なお、入学手続の詳細は、合格発表日以降、「マイページ」にて「入学案内」を取得しご確認ください。

区分	期限	内容
第一次入学手続	2026年11月 9日(月)	入学金納入
第二次入学手続	2026年12月22日(火)	授業料等納入
	2026年12月22日(火) 15時00分	学籍関連情報・写真登録
	2027年 3月 5日(金)《消印有効》	入学手続き書類提出 ^(※)

(※)入学手続き書類として、卒業証明書(高等学校発行)等をご準備いただく必要があります。

※第二次入学手続の延期について

本学や他大学を併願受験し、第一次入学手続をした場合に限り、第二次入学手続を、併願受験大学の合格発表日の翌日〔最終3月23日(火)必着〕まで延期することができます。

なお、追加合格や補欠合格は延期理由の対象外となります。

※入学金振替制度について

海外帰国生選抜入試・短大海外帰国生選抜入試または社会人入試・短大社会人入試に第一次入学手続後、本学に他の入試で合格した場合は入学金の振替ができます(再度、入学金を納入する必要はありません)。

単位認定【3年次入学(編入学)】

- (1) 出身学校での既修得単位について、62単位を上限に単位認定します。
- (2) 編入学後、教職・博物館学芸員・司書課程の受講を希望する場合は、資格課程科目の認定を行います(博物館学芸員・司書の各課程は豊橋校舎での開講です)。

重要

合格発表に関するご案内

愛知大学の「合格発表」はオンライン合否照会ページを通じて行います。
受験番号をご用意の上、以下の案内に従ってご確認ください。

STEP 1 オンライン合否照会ページにアクセス

方法①

愛知大学受験生向けサイトのTOPページからの遷移

TOPページにある合格発表バナーを選択
(URL: <https://adm.aichi-u.ac.jp/>)

方法②

QRコードの読み込み

スマートフォン等で右記のQRコードを読み込む
※10月中旬以降アクセス可能となります。

方法①



方法②



オンライン合否照会

STEP 2 認証ページ

オンライン合否照会ページの認証画面へ進み受験番号と生年月日を入力

【注意事項】

受験番号 (半角英数字)
受験票に記載のある6桁を入力

生年月日 (半角数字)
生年月日を8桁で入力
(例: 2008年1月15日 → 20080115)
※0を含めた形で入力してください

STEP 3 合否照会

合否の確認

下記画面はイメージです。実際の画面と異なる可能性があります。

オンライン合否照会		
現代中国学部グローバル人材特別入試		
合格	学部学科 現代中国学部 現代中国学科	受験番号 91L001

オンライン合否照会		
現代中国学部グローバル人材特別入試		
不合格	学部学科 現代中国学部 現代中国学科	受験番号 91L001

STEP4 入学手続 (合格者のみ)

愛知大学受験生向けサイトから入学手続専用「マイページ」へ遷移

※遷移後は案内に従って手続きを進めてください。



【注意事項】
STEP 2と同様となります
※パスワードは生年月日をご入力ください

奨学金制度

●教育ローン援助奨学金

日本政策金融公庫等が取り扱う教育ローンを利用して、学納金等(入学金を含む)を期限内に納付した場合、奨学金を給付する制度です。教育ローン契約者は、父母またはそれに代わる人のいずれかに限ります。教育ローンの利子のうち、在学中(最短修業年限内)は利子の一部(上限5%)を奨学金として給付します。また、教育ローン利用契約時に別途保証料を支払った場合については、その保証料を採用初年度に限り、10万円を限度に給付するものです。申請時期は5月または10月です。

●日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、国および社会にとって有用な人材を育成することを目的とし、成績が平均水準以上で経済的な理由により奨学金を必要とする学生に対して学資を貸与します。申込説明会は4月、決定時期は6月を予定しています。

●高等教育の修学支援新制度

(参考：2026年度実績)

貸与種別		第一種奨学金(無利息)		第二種奨学金(有利息)
貸与月額		自宅通学		短大・学部とも 20,000円から120,000円までの中から 1万円単位で選択
		学部	学部	
		短大	短大	
		20,000円、30,000円、 40,000円、54,000円から選択	20,000円、30,000円、 40,000円、50,000円、 54,000円、64,000円から選択	
		20,000円、30,000円、 40,000円、53,000円から選択	20,000円、30,000円、 40,000円、50,000円、 53,000円、60,000円から選択	
主な 成績基準	1年次	高等学校又は専修学校高等課程の成績が3.5以上の者		出身学校における学業成績が平均水準以上の者
	2年次 以上	大学における学業成績が本人の属する学部(科)の上位1/3以内の者		大学における学業成績が平均水準以上の者
貸与始期		4月		4月
返還方法等		卒業後に無利息で返還する		卒業後に年利率3%を上限とした利息を上乗せして返還する(在学中は無利息)

本学は、国による「高等教育の修学支援新制度」対象機関として認定されています。学業成績や家計に係る基準を満たす対象者は、本学在学にあたり支援を受けることができます。申込説明会は、入学後毎年春および秋を予定しています。

制度の詳細は、文部科学省のHP (<https://www.mext.go.jp/kyufu/>) にてご確認ください。

なお、本学では出身学校在学時に予約採用された方も入学手続期限までに入学金および学納金等を納入いただき、入学後、区分に応じた減免額を返金します。

●学業奨励金(給付)

2年次以上を対象に、前年度に修得した科目の単位数および成績に基づき審査を行い、学業成績が特に優れた学生に対して給付します。採用人数は131名。

金額	申請・給付時期
授業料半額相当額	給付時期：春学期分6月、秋学期分11月を予定 (春秋ともに申請不要) ^(注)

(注) 採用決定は大学が行います。なお、奨学金を受給するには手続書類の提出が必要です。

●応急奨学金(給付)

主たる家計支持者の死亡・失職・災害等によって家計が急変し、学業の継続が困難になった学生を対象とします。なお、出願事由は入学後を対象とします。

金額	申請・給付時期
申請した学期の学費(授業料および教育充実費)相当額	出願事由発生後6か月以内

学 納 金 等【1 年次入学】

●学納金（2027年度入学生）

（単位：円）

種別		学部	法 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部	現代中国学部 国際コミュニケーション学部	社会情報学部*	文 学 部	地域政策学部	短 期 大 学 部
入学金	第一次入学手続		250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
授業料	第二次入学手続		385,000	415,000	425,000	395,000	385,000	380,000
教育充実費			145,000	145,000	145,000	125,000	125,000	125,000
入学手続時 納入額	第一次入学手続計		250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	第二次入学手続計		530,000	560,000	570,000	520,000	510,000	505,000
授業料			385,000	415,000	425,000	395,000	385,000	380,000
教育充実費			145,000	145,000	145,000	125,000	125,000	125,000
秋学期計 （納入期限：2027年9月15日）			530,000	560,000	570,000	520,000	510,000	505,000

*2027年4月開設予定

※授業料は2年次以降10,000円ずつ増額となります。※学納金等は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。
※入学金は初年度（入学年度）のみ徴収します。2年次以降は授業料と教育充実費を徴収します。本学の事情によって入学後の学納金等を改定する場合があります。

注意事項

- ①本学では、入学前に寄付金・学校債等の募集は行っておりません。入学後に教学組織および教育環境の整備・充実、学生支援活動の充実・強化、社会貢献活動の推進等を使途とした募金（寄付金）を学生の保証人の方をお願いしておりますが、応募は任意です。
- ②学納金のうち、授業料および教育充実費については学期毎に納入することになります。
- ③いったん納入された学納金は返還しません。ただし、所定の期日までに入学辞退の手続きをした場合、入学金を除く入学手続時納入金を返還します。
- ④次の学部・学科・専攻・コースは実習費の納入が必要です。

（単位：円）

学部・学科・専攻・コース		種別	金額	納入時期
現代中国学部		実習費	430,000	2年次
文学部	人文社会学科 東アジア文化専攻 哲学専攻 図書館情報学専攻 メディア芸術専攻	表現実習費	13,000	2年次
	メディア芸術専攻	実験実習費	80,000	2年次以降毎年
	社会学専攻	調査実習費	20,000	3年次
	歴史地理学科 地理学専攻	調査実習費	10,000	2年次
	心理学科	実験実習費	60,000	2年次以降毎年
	地域政策学部 食農環境コース	実験実習費	50,000	2年次

現代中国学部の実習（現地プログラム）は、中国語を母語とする外国人留学生を除く実習のため、中国語を母語とする外国人留学生は実習費の納入が不要です。
為替相場の変動等により、追加徴収をお願いする場合があります。

●委託徴収金（2027年度入学生）

委託徴収金は本学が関係諸団体から依頼を受け徴収するものです。（単位：円）

種別		学部	法 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部 現 代 中 国 学 部 国際コミュニケーション学部 社会情報学部* 文 学 部 地 域 政 策 学 部	短 期 大 学 部
後援会・ 同窓会費	入学手続時1回のみ		40,000	20,000

*2027年4月開設予定

※金額は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。

学 納 金 等【3年次入学(編入学)】

●学納金（2027年度編入学生）

(単位：円)

種別		学部	現代中国学部 国際コミュニケーション学部
入学金	第一次入学手続		200,000
授業料	第二次入学手続		400,000
教育充実費			145,000
入学手続時納入額	第一次入学手続計		200,000
	第二次入学手続計		545,000
授業料			400,000
教育充実費			145,000
秋学期計(納入期限：2027年9月15日)			545,000

注意事項

- ① 詳細は、後日案内する入学手続書類をご確認ください。
- ② 本学では、入学前に寄付金・学校債等の募集は行っておりません。入学後に教学組織および教育環境の整備・充実、学生支援活動の充実・強化、社会貢献活動の推進等を使途とした募金(寄付金)を学生の保証人の方をお願いしておりますが、応募は任意です。
- ③ 学納金のうち、授業料および教育充実費については学期毎に納入することになります。
- ④ いったん納入された学納金は返還しません。ただし、所定の期日までに入学辞退の手続きをした場合、入学金を除く入学手続時納入金を返還します。

4年次の学納金について

授業料：10,000円増額となります。

※上記の学納金は、学則の改正にともない変更する場合があります。

●委託徴収金（2027年度編入学生）

委託徴収金は本学が関係諸団体から依頼を受け徴収するものです。

(単位：円)

種別		学部	現代中国学部 国際コミュニケーション学部
後援会・同窓会	入学手続時1回のみ		40,000

※金額は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。

本学（短大除く）出身者で既に納入済みの方は不要です。ただし本学短期大学部出身者で納入済みの場合は20,000円となります。

【交通アクセス】

名古屋校舎

(法学部・経済学部・経営学部・現代中国学部・国際コミュニケーション学部・社会情報学部*)

*2027年4月開設予定

名古屋市中村区平池町四丁目60-6 TEL 052-564-6111(代表)

<アクセス>

〔鉄道〕 「名古屋」駅より徒歩約10分

あおなみ線「ささしまライブ」駅下車(名古屋駅より乗車時間1分)

※大学まで歩行者デッキで直結

豊橋校舎

(文学部・地域政策学部・短期大学部)

愛知県豊橋市町畑町1-1 TEL 0532-47-4111(代表)

<アクセス>

〔鉄道〕 豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅隣接(新豊橋駅より乗車時間6分)

入学試験当日は、天候や事故などにより、予期せぬ公共交通機関の遅延などが発生する可能性があります。そのため、試験場までの複数の移動手段、代替ルートを事前に想定することをおすすめします。また、早めに試験場に到着するように心がけてください。試験当日、以下のURLにて緊急時の本学の対応措置についての情報が確認できます。

受験生向けサイト(パソコン・スマートフォン) <https://adm.aichi-u.ac.jp/>



<個人情報の取扱いについて>

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、

(1)入学試験の実施(出願処理・試験の実施等)

(2)入学手続、各種案内

(3)入学者選抜方法改善及び広報改善のための調査・アンケート

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

なお、本学は上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者(以下、「委託業者」という)において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対しても、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。

感染症や災害等の影響によって、予定している試験が実施困難と判断される場合、内容を一部変更し、実施する可能性があります。なお、変更内容は決定次第、速やかに受験生向けサイトにてお知らせします。

企画部入試課

〒461-8641 名古屋市中東区筒井二丁目10-31
TEL(052)937-8112・8113(直通)(平日9時~17時)

※受験及び修学上、特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち必ず企画部入試課までお問い合わせください。

別紙①

学部・学科・コース		コード	学部・学科・コース		コード	
法学部	法学科	16	文学部（学部全体入試）		40	
経済学部	経済学科	21	地域 政策 学部	地域 政策 学科	公共政策コース	71
経営学部	経営学科	35			経済産業コース	72
	会計ファイナンス学科	39			まちづくり・文化コース	73
現代中国学部	現代中国学科	11			健康・スポーツコース	75
国際コミュニケーション学部	英語学科	91	短期大学部		食農環境コース	76
	国際教養学科	95			ライフデザイン総合学科	83
社会情報学部	社会情報学科	81				

入学志願票記入上の注意

記入例

1. ※欄を除くすべての項目を志願者が記入してください。
2. 訂正は二重線でを行い、訂正印を押印してください。出願後の内容変更は一切認めません。

2027年度愛知大学・愛知大学短期大学部入学志願票 海外帰国生選抜入試

別紙①

裏面の記入上の注意をよく読んでから、※欄以外を黒ボールペンで正確に記入してください。

受験番号	※		※	
フリガナ (18文字以内)	アイタダイハナコ			
氏名 (姓6文字以内、名6文字以内)	愛大		花子	
生年月日	西暦 2008 年 12 月 5 日		性別	男:1 女:②
志望学部・学科・コース (※文学部は学科・コース記入不要。地域政策学部はコースまで記入)				コード
経済 学部 経済 学科				21
最終出身学校	名称	名古屋東高等学校	卒業(見込)又は合格年月	西暦 2027 年 3 月 卒業見込
	課程学科	全日制 普通	課程科	コース
	課程コード		高校等コード	2 3 8 9 7 Z
	当該国		オーストラリア	
志願者連絡先	〒 4 6 0 - 0 0 0 0	出身高校等コードは大学入学共通テスト用のコードを記入してください。		外国にて教育を受けた国名を記入してください。
	愛知県	名古屋市東区天神町白壁		
	4 丁目 5 6 - 7 7			
	コーポ緑ヶ丘 B - 3 2 0			
	TEL① (必須)	××× - △△△ - □□□□		
	TEL②	〇〇〇 - ××× - △△△△		
メールアドレス (必須)	aichidaigaku @ 〇〇〇〇.co.jp			
保護者住所等	保護者氏名	愛知学		続柄 父
	〒 □ □ □ - □ □ □ □			
	同 上			
	TEL① (必須)	××× - △△△ - □□□□		
	TEL②	〇〇〇 - ××× - △△△△		
	合	1		2
※	※		※	

写真貼付欄

全面のり付け

提出前3ヶ月以内に撮影
上半身・正面・脱帽
縦4.0cm×横3.0cm
写真裏面に氏名・志願

写真の貼り忘れに注意

フリガナは18文字以内、姓と名の間はスペースを開けてください。スペース、濁点、半濁点も1文字とします。

氏名は住民票記載の氏名を、姓6文字以内、名6文字以内で記入してください。

ただし、受験票や合格通知書に記載される氏名は原則としてJIS第2水準までのものを使用しますので、規格にない漢字は順字を使用することがあります。

また、外国籍の志願者で入学後に通称名の使用を希望する場合は、住民票記載の通称名を記入してください。

志願者連絡先は、受験票等の送付先住所、電話番号及びメールアドレスを記入してください。

住宅名(マンション、団地等)、棟、部屋番号、下宿先名(寮等)は住所欄の3行目に記入してください。

1行目の余りマスに次の語句が書ききれない場合はその余りの部分を空白とし、2行目の始めから書き入れてください。

電話番号は志願者本人と連絡が取れる番号にしてください。

メールアドレスは出願や入学の手続きに関わる連絡をすることがありますので、正確に記入してください。

※

＜アンケート＞
このアンケートは今後の学生募集活動を行うための参考とさせていただきます。このアンケートの回答内容は合否には一切関係ありません。

オープンキャンパスに参加されましたか	はい	いいえ	本学の受験を決めた時期	高校 3 年生 8 月頃
本学以外に志望校として考えている大学と学部名を記入してください。				
本学を除く第1志望		本学を除く第2志望		
名古屋西 大学		名古屋北 大学		
人文 学部		経済 学部		
※		※		

＜コード表＞

学部・学科・コース	コード	学部・学科・コース	コード
法学部	16	文学部 (学部全体入試)	40
経済学部	21	地域政策学部	71
経営学部	35	地域政策学部	72
経営学部	39	まちづくり・文化コース	73
現代中国学部	11	健康・スポーツコース	75
国際コミュニケーション学部	91	食農環境コース	76
国際教養学部	95	短期大学部	83
社会情報学部	81	ライフデザイン総合学科	

2027年度愛知大学・愛知大学短期大学部入学志願票 社会人入試

別紙②

裏面の記入上の注意をよく読んでから、※欄以外を黒ボールペンで正確に記入してください。

受験番号	※										※									
フリガナ (18文字以内)																				
氏名 (姓6文字以内、名6文字以内)																				
生年月日	西暦		年		月		日		年齢		歳		性別		男：1 女：2					
志願者連絡先	〒																			
	都道府県																			
	TEL① (必須)										-									
	TEL②										-									
メールアドレス (必須)										@										
志願者履歴	現況	1. 就労者 2. 定年退職者 3. 家事従事者 4. その他																		
	現在 (最終) 勤務先	(会社名) (所属部署名)																		
		(在職期間) ● 現在に至る 昭和 令和 年 月 ~ 昭和 令和 年 月 退職 ● 平成 令和																		
志望学部・学科・コース (※文学部は学科・コース記入不要。地域政策学部はコースまで記入)																コード				
1年次		学部				学科				コース										
3年次																				
出身高等学校等	所在地	都道府県																		
	名称	学校																		
	高校等コード	※																		
	課程	全日制				定時制				通信制				その他						
		0				1				2				3						
	学科	普通科	理数科 英語科	商業科	工業科	家政科	総合学科	その他												
0		1	2	3	4	5	6													
卒業 (見込) 又は合格年月	西暦				年				月				※							

▼学部3年次編入学志願者のみ記入

出身学校・学部・学科・専攻・コース等																
														※		
昭和					1. 年次修了				3. 卒業							
平成	年				月				2. 年次修了見込				4. 卒業見込			
令和																
合				1				2								
※				※				※								
※ 国際コミュニケーション学部																

<コード表>

学部・学科・コース			コード	学部・学科・コース			コード
法学部	法学科		16	文学部 (学部全体入試)			40
経済学部	経済学科		21	地域政策学部	地域政策学科	公共政策コース	71
経営学部	経営学科		35			経済産業コース	72
	会計ファイナンス学科		39			まちづくり・文化コース	73
現代中国学部	現代中国学科		11			健康・スポーツコース	75
国際コミュニケーション学部	英語学科		91	短期大学部	ライフデザイン総合学科	食農環境コース	76
国際教養学部	国際教養学科		95				83
社会情報学部	社会情報学科		81				

写真貼付欄

全面のり付け

提出前3ヶ月以内に撮影
上半身・正面・脱帽
縦4.0cm×横3.0cm
写真裏面に氏名・志願
学部名を記入したもの

志願者連絡先は、受験票等の
送付先住所、電話番号及び
メールアドレスを記入してく
ださい。

住宅名 (マンション、団地
等)、棟、部屋番号、下宿先
名 (寮等) は住所欄の3行目
に記入してください。

1行目の余りマスに次の語句が
書ききれない場合はその余り
の部分を空白とし、2行目の始
めから書き入れてください。

電話番号は志願者本人と連絡
が取れる番号にしてください。

メールアドレスは出願や入学
の手続に関わる連絡をするこ
とがありますので、正確に記
入してください。

下部のコード表を参照し、
記入してください。

長期履修コース
を希望する。

☐

短期大学部志願者で長期履
修コース希望者は、レ点
チェックを記入してくださ
い。

※長期履修コースとは、通
常2年間のコースを3年間
で設定したものです。授業
料は2年分を3年間に分割
して納入していただきます。

入学志願票記入上の注意

記入例

- ※欄を除くすべての項目を志願者が記入してください。
- 訂正は二重線で行い、訂正印を押印してください。出願後の内容変更は一切認めません。

2027年度愛知大学・愛知大学短期大学部入学志願票 社会人入試

別紙②

裏面の記入上の注意をよく読んでから、※欄以外を黒ボールペンで正確に記入してください。

受験番号	※	
フリガナ (18文字以内)	アイタ イ ハナコ	
氏名 (姓6文字以内、名6文字以内)	愛大 花子	
生年月日	西暦 1991 年 4 月 28 日	年齢 35 歳 性別 男:1 女:②
〒	4 6 0 - 0 0 0 0	
都道府県	愛知県	
市町村	名古屋市中区天神町白壁	
丁目	4 丁目 5 6 - 7 7	
コーポ	コーポ 緑ヶ丘 B - 3 2 0	
TEL① (必須)	××× - △△△ - □□□□	
TEL②	○○○ - ××× - △△△△	
メールアドレス (必須)	aichidaigaku @ ○○○○.co.jp	
志願者連絡先		
志願者履歴	現況 1. 就労者 2. 定年退職者 3. 家事従事者 4. その他 (会社名) (所属部署名) ○×株式会社 総務部総務課 (在職期間) 現在に至る 昭和 平成 26 年 4 月～ 令和 年 月 退職	
希望学部・学科・コース	(※文学部は学科・コース記入不要。地域政策学部はコースまで記入)	
1年次	現代中国	学部 現代中国 学科
3年次	現代中国	学部 現代中国 学科
コード	11	
所在地	愛知 都道府県	
名称	名古屋東高等 学校	
高校等コード	※	
課程	全日制 0 1 2 3 定時制 1 2 3 通信制 2 3	
学科	普通科 0 1 2 3 4 5 6 理数科 1 英語科 1 商業科 2 工業科 3 家政科 4 総合学科 5 その他 6	
卒業(見込)又は合格年月	西暦 2010 年 3 月 ※	

写真貼付欄

全面のり付け

提出前3ヶ月以内に撮影
上半身・正面・脱帽
縦4.0cm×横3.0cm
写真裏面に氏名・志願
学部名を記入したもの

写真の貼り
忘れに注意

フリガナは18文字以内、姓と名の間はスペースを開けてください。スペース、濁点、半濁点も1文字とします。

氏名は住民票記載の氏名を、姓6文字以内、名6文字以内で記入してください。

ただし、受験票や合格通知書に記載される氏名は原則としてJIS第2水準までのものを使用しますので、規格にない漢字は類字を使用することがあります。

また、外国籍の志願者で入学後に通称名の使用を希望する場合は、住民票記載の通称名を記入してください。

志願者連絡先は、受験票等の送付先住所、電話番号及びメールアドレスを記入してください。

住宅名(マンション、団地等)、棟、部屋番号、下宿先名(寮等)は住所欄の3行目に記入してください。

1行目の余りマスに次の語句が書ききれない場合はその余りの部分を空白とし、2行目の始めから書き入れてください。

電話番号は志願者本人と連絡が取れる番号にしてください。

メールアドレスは出願や入学の手續に関わる連絡をすることがありますので、正確に記入してください。

国際科や国際ビジネス科など、国際系学科は「1」(理数科、英語科)を選択してください。

長期履修コースを希望する。 ☐

短期大学部志願者で長期履修コース希望者は、レ点チェックを記入してください。

※長期履修コースとは、通常2年間のコースを3年間で設定したものです。授業料は2年分を3年間に分割して納入していただきます。

▼学部3年次編入学志願者のみ記入

出身学校・学部・学科・専攻・コース等	
西海大学 経営学部経営学科 情報コース ※	
昭和 平成 26 年 3 月 令和	1. 年次修了 ③ 卒業 2. 年次修了見込 4. 卒業見込
合	1 2
※	※
※ 国際コミュニケーション学部	

<コード表>

学部・学科・コース	コード	学部・学科・コース	コード
法学部 法学科	16	文学部 (学部全体入試)	40
経済学部 経済学科	21	地域政策学部 公共政策コース	71
経営学部 経営学科	35	地域政策学部 経済産業コース	72
経営学部 会計ファイナンス学科	39	地域政策学部 まちづくり・文化コース	73
現代中国学部 現代中国学科	11	地域政策学部 健康・スポーツコース	75
国際コミュニケーション学部 英語学科	91	地域政策学部 食農環境コース	76
国際コミュニケーション学部 国際教養学科	95	短期大学部 ライフデザイン総合学科	83
社会情報学部 社会情報学科	81		

A

取扱店保管

入学検定料振込依頼書

振込手数料は振込依頼人様のご負担となります

送り先	三菱UFJ銀行 すすがぜ支店			振込金額	¥	3	5	0	0	0	
受取人	預金種目	普通	口座番号	1672905	振込手数料						
	氏名	ガッコウホウジン アイチ ダイガク 学校法人 愛知大学			内訳	現金					
振込 依頼人 (志願者)	カナ氏名					当店券					
	漢字氏名					他店券					
	住所	□□□-□□□□ TEL - -			取扱金融機関収納印 ① 取扱期間2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月) 期間外取扱不可						

取扱金融機関へのお願い

1 電信扱として太枠内を打電してください。

打電内容 フ 1672905 ¥35,000 ガッコウホウジン アイチダイガク カナ氏名

2 取扱金融機関収納印を①～③に押印の上、B・C票を振込依頼人へお返しください。

3 取扱期間を過ぎたものは受付しないでください。

4 ATMでの取り扱いはできません。

報告 オンライン	記帳	照合
-------------	----	----

(金融機関で切りはなしてください)

B

本人保管

入学検定料領収書

(兼振込手数料)

2027年度愛知大学・愛知大学短期大学部
海外帰国生選抜入試／短大海外帰国生選抜入試

漢字氏名			
振込金額	¥35,000	振込手数料	
送り先	三菱UFJ銀行 すすがぜ支店		
受取人	学校法人 愛知大学		

上記金額を入学検定料として領収しました。

一旦受領した入学検定料は原則返還しません。

取扱金融機関収納印のないものは無効です。

取扱金融機関収納印 ② 取扱期間2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月) 期間外取扱不可
--

(振込後、切りはなしてください)

C

大学提出

入学検定料振込確認書

2027年度愛知大学・愛知大学短期大学部
海外帰国生選抜入試／短大海外帰国生選抜入試

漢字氏名			
振込金額	¥35,000	振込手数料	

取扱金融機関収納印のないものは無効です。

取扱金融機関収納印 ③ 取扱期間2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月) 期間外取扱不可
--

A

取扱店保管

入学検定料振込依頼書

振込手数料は振込依頼人様のご負担となります

送り先	三菱UFJ銀行 すすがぜ支店			振込金額	¥	3	5	0	0	0	
受取人	預金種目	普通	口座番号	1672906	振込手数料						
	氏名	ガッコウホウジン アイチ ダイガク 学校法人 愛知大学			内訳	現金					
振込 依頼人 (志願者)	カナ氏名					当店券					
	漢字氏名					他店券					
	住所	□□□-□□□□ TEL - -			取扱金融機関収納印 ① 取扱期間2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月) 期間外取扱不可						

取扱金融機関へのお願い

1 電信扱として太枠内を打電してください。

打電内容 フ 1672906 ¥35,000 ガッコウホウジン アイチダイガク カナ氏名

2 取扱金融機関収納印を①～③に押印の上、B・C票を振込依頼人へお返しください。

3 取扱期間を過ぎたものは受付しないでください。

4 ATMでの取り扱いはできません。

(金融機関で切りはなしてください)

報告 オンライン	記帳	照合
-------------	----	----

B

本人保管

入学検定料領収書

(兼振込手数料)

2027年度愛知大学・愛知大学短期大学部
社会人入試／短大社会人入試

漢字氏名			
振込金額	¥35,000	振込手数料	
送り先	三菱UFJ銀行 すすがぜ支店		
受取人	学校法人 愛知大学		

上記金額を入学検定料として領収しました。

一旦受領した入学検定料は原則返還しません。

取扱金融機関収納印のないものは無効です。

(振込後、切りはなしてください)

取扱金融機関収納印 ② 取扱期間2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月) 期間外取扱不可
--

C

大学提出

入学検定料振込確認書

2027年度愛知大学・愛知大学短期大学部
社会人入試／短大社会人入試

漢字氏名			
振込金額	¥35,000	振込手数料	

取扱金融機関収納印のないものは無効です。

取扱金融機関収納印 ③ 取扱期間2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月) 期間外取扱不可
--

2027年度愛知大学・愛知大学短期大学部

写真票

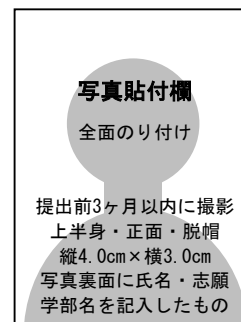
受験番号欄以外を記入の上、写真を貼付してください。

受験番号	※大学記入欄	
入試種別 (番号を○で囲む)	1. 海外帰国生選抜入試 2. 短大海外帰国生選抜入試 3. 社会人入試 4. 短大社会人入試	
志願先 ※文学部は学科・コース記入不要 ※地域政策学部はコースまで記入	学 部	
	学 科	
	コ ー ス	

※必ず「【別紙①】又は【別紙②】入学志願票」の志願先と一致させてください。

フリガナ		
氏名	姓	名

性別 (○で囲む)	男 • 女
--------------	---



入学検定料振込確認書貼付用紙

入学検定料振込後、別紙③もしくは別紙④のC票（入学検定料振込確認書）を貼付してください。

C

大学提出

入学検定料振込確認書貼付欄

記 入 日	2026年	月	日
フリガナ			男
氏 名			・ 女

受験番号	※	
いずれかを ○で囲むこと	I	海外帰国生選抜入試・短大海外帰国生選抜入試
	II	社会人入試・短大社会人入試
志願先	学部 学科 コース	

文学部は学科・コース記入不要
地域政策学部はコースまで記入

2027年度 海外帰国生選抜入試・短大海外帰国生選抜入試志望理由書
社会人入試・短大社会人入試志望理由書

(500字詰：横書き1/2)

[illegible]

〔志望理由書作成上の注意〕

500字

- ※欄は記入しないでください。
- 黒インクまたは黒ボールペンを使用して、自筆で記入してください。
- 「本学志望の理由」「将来の抱負」等を中心に、1,000字以内で簡潔にまとめてください。501字以降は別紙⑥-2をご利用ください。

フリガナ		男 ・ 女
氏 名		

受験番号	※
------	---

2027年度 海外帰国生選抜入試・短大海外帰国生選抜入試志望理由書
社会人入試・短大社会人入試志望理由書

(500字詰：横書き2/2)

[illegible]

〔志望理由書作成上の注意〕

- ※欄は記入しないでください。
- 黒インクまたは黒ボールペンを使用して、自筆で記入してください。
- 「本学志望の理由」「将来の抱負」等を中心に、1,000字以内で簡潔にまとめてください。1～500字は別紙⑥-1をご利用ください。

1,000字

フリガナ		男・女
氏名		

受験番号	※
志願先	学部 学科 コース

文学部は学科・コース記入不要
地域政策学部はコースまで記入

身上書

国籍または出身県	(国籍)	都・道 府・県	
出身学校	学校名	所在地(国)	在学期間(西暦)
小学校			年 月 ~ 年 月
			年 月 ~ 年 月
中学校			年 月 ~ 年 月
			年 月 ~ 年 月
高等学校			年 月 ~ 年 月
			年 月 ~ 年 月
資格			
①海外で経験したことについて (日本人のみ記入) ②日本に来るまでの履歴、日本で経験したことについて (外国人のみ記入)			

[注] 1. ※欄は記入しないでください。
2. 該当事項をもれなく日本語(楷書)で正確に記入してください。

社会人入試
短大社会人入試

フリガナ		男・女
氏 名		

受験番号	※
志願先	学部 学科 コース

文学部は学科・コース記入不要
地域政策学部はコースまで記入

就業状況等に関する調書

【学歴】（高等学校等入学以降の学歴を記入。大学学部、短期大学出身の場合は学部名も記入）

	(西暦)	年 月	入 学
		年 月	卒業・卒業見込
		年 月	入 学・編 入 学
		年 月	卒業・卒業見込
		年 月	入 学・編 入 学
		年 月	卒業・卒業見込

【職歴】

	(西暦)	年 月	入 社
		年 月	退職・退職予定
		年 月	入 社
		年 月	退職・退職予定
		年 月	入 社
		年 月	退職・退職予定

【特記事項】（学歴、職歴、資格等で特記事項があれば記入）

〔注〕 ※欄は記入しないでください。

社会人入試 ―専修学校のみ提出―

受験番号 ※

専修学校専門課程修了(見込)証明書

学生番号

学 科

氏 名

生年月日

上記学生は、本校において修業年限が2年以上で、かつ、
課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である
上記学科修了(見込)者であることを証明する。

(西暦) 年 月 日

所 在 地

学 校 名

校 長 名

印

- 〔注〕 1. ※欄は記入しないでください。
2. 学校長の署名・捺印の上、厳封して本人(志願者)に交付してください。
3. 修了者については“(見込)”を二重線で削除(2箇所)し、当該部分に学校長印を押してください。

資格検定試験証明書等貼付用紙

受験番号	※
------	---

※欄は記入しないでください。

氏 名	(フリガナ)	資料枚数
		/

/の右側に提出する資料貼付用紙の総数、
左側に何枚目かを記入してください。

貼 付 欄

社会人入試の国際コミュニケーション学部志願者のみ提出

〔注 意〕

- 1. 出願資格に該当する合格証書等の写しをこの枠内に貼付してください。
- 2. 用紙 1 枚につき、資料を 1 枚貼付してください。
資料が複数ある場合は、本紙をコピーして使用してください。
- 3. 大きいものはこの用紙の枠からはみ出さないように縮小してから貼付してください。
また、資料は重ねて貼付したり、貼付後に折り曲げないようにしてください。

切手貼付

(簡易書留速達分)

〒 4 6 1 - 8 6 4 1

名古屋市東区筒井二丁目 1 0 - 3 1

簡易書留

愛知大学企画部入試課 行

2027年度 海外帰国生選抜入試
短大海外帰国生選抜入試 出願書類在中

差出人	現住所	〒 ー		
	フリガナ		電話番号(志願者本人と連絡が取れる番号)	
	氏名		() ー	
	学校名	学校		
	志願先	学部 学科 コース		

※文学部は学科・コース記入不要。地域政策学部はコースまで記入

●以下の書類が入っていますか？ もう一度確認し、□にチェックしてください。

提出書類	☐	【別紙①】入学志願票	全員	☐	【別紙⑤】写真票/入学検定料振込 確認書貼付用紙	全員
	☐	【別紙⑥】志望理由書	全員	☐	【別紙⑦】身上書	全員
	☐	成績証明書	全員	☐	在籍証明書	全員
	☐	卒業証明書	全員	☐	引揚証明書	対象者(※)
	☐	永住者資格を証明する書類	対象者(※)	☐	その他本学が必要と認めた書類	対象者(※)

(※) 該当者のみ提出

郵送出願締切: 2026年9月29日(火) < 必着 >

出願書類送付用宛名ラベル

切手貼付

(簡易書留速達分)

簡
易
書
留

〒 4 6 1 - 8 6 4 1

名古屋市東区筒井二丁目 1 0 - 3 1

愛知大学企画部入試課 行

2027年度 社会人入試・短大社会人入試 出願書類在中

差出人	現住所	〒 —		
	フリガナ		電話番号 (志願者本人と連絡が取れる番号)	
	氏名		() —	
	志願先	学部 学科 コース		

※文学部は学科・コース記入不要。地域政策学部はコースまで記入

●以下の書類が入っていますか？ もう一度確認し、□にチェックしてください。

提出書類 (1年次入学)	☐	【別紙②】入学志願票	全員	☐	【別紙⑤】写真票/入学検定料振込 確認書貼付用紙	全員
	☐	【別紙⑥】志望理由書	全員	☐	調査書	全員
	☐	卒業証明書	全員	☐	【別紙⑧】就業状況等に関する調書	全員
	☐	【別紙⑩】資格検定試験証明書等貼付用紙				対象者(※1)
提出書類 (3年次入学)	☐	【別紙②】入学志願票	全員	☐	【別紙⑤】写真票/入学検定料振込 確認書貼付用紙	全員
	☐	【別紙⑥】志望理由書	全員	☐	成績証明書	全員
	☐	履修登録書	対象者(※2)	☐	卒業(修了)証明書または 卒業(修了)見込証明書または 在学期間証明書	全員 (※3)
	☐	【別紙⑧】就業状況等に関する調書	全員			
	☐	【別紙⑨】専修学校専門課程修了(見込)証明書	対象者(※4)	☐	【別紙⑩】資格検定試験証明書等貼付用紙	対象者(※1)

(※1) 国際コミュニケーション学部志願者のみ提出 (※2) 出願時に履修中の科目がある志願者のみ提出

(※3) 大学中途退学者または現在四年制大学に在籍し2年次までの課程を修了(見込みを含む)した者は在学期間証明書を提出

(※4) 募集要項P.10記載の出願資格(3)cに該当する志願者のみ提出

郵送出願締切:2026年9月29日(火) << 必着 >>

出願書類送付用宛名ラベル